

# 財務諸表に対する注記

## 1 重要な会計方針

### (1) 固定資産の減価償却の方法

#### ① 有形固定資産

建物 …………… 定額法

器具備品 …………… 定率法

#### ② 無形固定資産 …………… 定額法

### (2) 引当金の計上基準

#### ① 賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

#### ② 退職給付引当金

職員に対する退職給付に備えるため、職員退職金支給規程に基づく期末要支給額を計上している。

### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

## 2 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当預金	0	61,800	0	61,800
会館建替積立預金	12,600,000	0	0	12,600,000
生涯教育金	2,000,000	0	0	2,000,000
合計	14,600,000	61,800	0	14,661,800

## 3 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
退職給付引当預金	61,800	0	0	61,800
会館建替積立預金	12,600,000	0	12,600,000	0
生涯教育金	2,000,000	0	2,000,000	0
合計	14,600,000	0	14,600,000	61,800

## 4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	13,237,770	11,397,706	1,840,064
器具備品	1,442,655	1,400,970	41,685
合計	14,680,425	12,798,696	1,881,749